

みずほCustomer Desk Report 2023/08/15号 (As of 2023/08/14)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

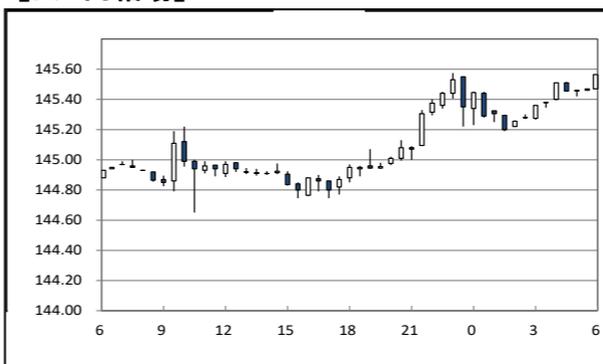
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	145.11
TKY 9:00AM	144.86	1.0944	158.50	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	145.57	1.0965	158.84	1.2694	0.6495
SYD-NY Low	144.65	1.0874	158.20	1.2711	0.6504
NY 5:00 PM	145.57	1.0905	158.63	1.2617	0.6454
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,307.63	▲ 26.23	日本2年債	0.0200%	0.0100%
NASDAQ	13,788.33	▲ 143.48	日本10年債	0.6100%	0.0300%
S&P	4,489.72	▲ 25.67	米国2年債	4.9712%	0.0797%
日経平均	32,059.91	▲ 413.74	米国5年債	4.3706%	0.0684%
TOPIX	2,280.89	▲ 22.62	米国10年債	4.2002%	0.0431%
ソコ日経先物	32,315.00	▲ 155.00	独10年債	2.6365%	0.0180%
ロンドンFT	7,507.15	▲ 17.01	英10年債	4.5615%	0.0380%
DAX	15,904.25	▲ 72.08	豪10年債	4.1950%	0.0760%
ハンセン指数	18,773.55	▲ 301.64	USDJPY 1M Vol	9.37%	0.56%
上海総合	3,178.43	▲ 10.82	USDJPY 3M Vol	9.72%	0.30%
NY金	1,944.00	▲ 2.60	USDJPY 6M Vol	9.58%	0.28%
WTI	82.51	▲ 0.68	USDJPY 1M 25RR	▲0.62%	Yen Call Over
CRB指数	278.10	▲ 1.64	EURJPY 3M Vol	9.75%	0.30%
ドルインデックス	103.19	0.35	EURJPY 6M Vol	9.73%	0.21%

【昨日の指標等】

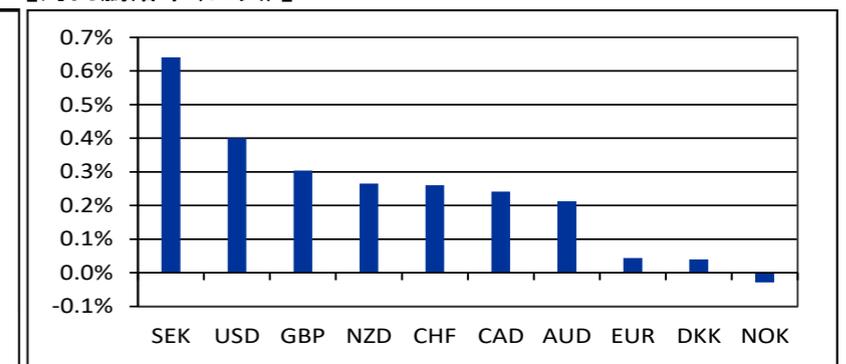
Date	Time	Event	結果	予想
【本日の予定】				
Date	Time	Event	予想	前回
8月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	2Q 2.9%	2.7%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	2Q 0.8%	0.7%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	2Q 3.8%	2.0%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	7月 4.3%	4.4%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	7月 4.0%	3.1%
	18:00	独 ZEW(景気期待/調査現状)指数	8月 -14.9/-63.0	-14.7/-59.5
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	8月 -	-12.2
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	7月 0.4%	0.2%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	7月 0.4%	0.2%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	8月 -1.0	1.1

東京	144.86レベルで東京時間オープン。朝方は日本株の上昇を見ながら大台145円乗せ。ストップスを巻き込みながら東京時間高値の145.22まで吹き上がる。ただし、株が反転下落するとUSD/JPYも連れられる展開。144.80を割ったところで大口の売りが出て、144.65の安値を示現。その後は全般的なドル買いに水準を戻し、横ばい推移、144.80レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.80レベルでオープン。米金利が高水準で推移する中、一本調子で145.13まで上昇し、結局145.10レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、上昇して寄り付いた日本株が反落する動きに円買いが優勢となり144.65まで下落するが、その後はじり高で推移し、145.10レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は米金利が上昇する動きを受けたドル買いに145.40を数回試し、米長期金利が8/4以来のレベルを抜ける展開にドル円も145.57まで上昇する。中国人民銀行が消費者自動車金融向けの社債発行を支援へのヘッドラインが伝わるが、市場の反応は限定的となり、その後は米金利が低下に転じたことから145.19まで反落する。午後は米金利が再び上昇する展開に145.57まで値を戻し、同レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは1.0950付近での狭いレンジでの推移が続き、1.0939レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受けたドル買いに1.0874まで下落する。その後一旦ドルが売り戻される展開に1.0936まで戻すが米金利上昇を受けたドル買いが再び持ち込まれたことから、上値を重くし1.0905レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.80-146.30	1.0850-1.0980	157.80-159.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一時145.57と昨年11月以来の高値まで上昇した。東京時間のドル円は145円台まで上昇するも、まとまったドル売りのフロー、さらに日経平均の下落を背景に一時144.65まで下落した。海外でも中国経済への懸念を背景としたリスクオフの動きが続き、さらに米金利の上昇を背景に主要通貨に対しドルが買われた。ドル円もドル買いの流れを受け、一時145.57まで上昇し、高値圏でのみ合いが続いた。中国への警戒感が強まる中、本日は中国7月鉱工業生産、小売売上高、固定資産投資が発表される。弱い結果となり、ドル/人民元が大きく上昇する展開となるとドル円も連れ高となるだろう。さらに米国時間には米7月小売売上高が発表される。米国のGDPの大部分を占める個人消費の堅調さが確認されると、ドル買いは更に進むと予想。ただし、市場では政府・日銀によるドル売り介入警戒感が高まっている。昨日は当局発言は確認されていないが、今年の高値を更新したこの水準ではコメントが出るか注目したい。介入警戒感が高まるとドル円の上値は押さえられるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・松木